

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	特別活動「Web ページをつくろう」
学年	小学校第6 学年
目標	プログラミングの場面に触れさせることにより、様々な機器を動かしている基になっていることを知り、楽しんでHTMLファイルが作れるようにする。
教材タイプ	テキスト言語
使用教材	メモ帳
環境	児童用ノート PC 40 台を整備した PC 教室を使用
都道府県	神奈川県相模原市
実施校	相模原市立田名北小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<ol style="list-style-type: none">めあてを確認しよう 「テキストプログラミングを行おう」課題を確認しよう 「ホームページを作成するときにはどのような画面を操作しているのだろうか。」Web ページをつくろう<ol style="list-style-type: none">メモ帳で先生が用意した html ファイルを開く。<title>や<body>のタグの中身を変えよう。保存した Web ページを開いてみよう。もっと工夫をしてみよう。 ※や<u>のタグを使って文字を装飾する、など。まとめ 学習を振り返り、今日気付いたことを確認する。
成果と課題	<p>児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">○「自分で一から作れたことに驚いた。またやってみたい」○「プログラミングの仕組みを知れて嬉しかった。」○「打つ文字を変えたらホームページの表示も変わることにびっくりした。こうやっていろいろなものを動かすようにしているんだなあ」●「一文字間違えただけで動かなくなることに操作しにくさを感じた」●「決められた文字を打ち込むだけではたのしさを感ずることができなかった」 <p>児童の反応では賛否両論様々な意見が出された。このことから入念な準備を行うことや、文字入力に対して苦手意識を持っている児童へのフォローが必要だと感じた。授業内容を精選して次回の学習につなげたい。</p>